平成 31 年度
東近江市市民活動支援業務

報　告　書

令和２年３月

特 定 非 営 利 活 動 法 人　　ま ち づ く り ネ ッ ト 東 近 江

業務完了報告

業務名　　平成 31 年度東近江市市民活動支援業務委託

業務場所　　滋賀県東近江市

履行期間　　着手　平成３1 年４月　１日
　　完了　令和　２年３月31 日

業務の目的　　市民活動団体の育成と交流を促進し、地域の課題解決を図る市民公益活動を支援する等の中間支援機能の充実を図ることにより、市民と市の協働によるまちづくりを推進するとともに、活力ある地域社会の実現に寄与することを本業務の目的とする。なお、業務を進めるに当たり、次の点に留意すること。

業務の内容
1）情報収集及び提供に関する業務
2）相談及びコンサルティングに関する業務
3）人材育成及び研修に関する業務
4）活動資金の調達支援に関する業務
5）交流促進と協働推進に関する業務
6）その他市民活動の促進に関する自主業務

報告書の構成
第１章　背景・目的
第２章　情報収集及び」提供に関する業務
第３章　相談及びコンサルティングに関する業務
第４章　人材育成及び研修に関する業務
第５章　活動資金の調達支援に関する業務
第６章　交流促進と協働推進に関する業務
第７章　その他市民活動の促進に関する自主業務
第８章　今後の展望

成果品構成　　報告書　　１部

発注者　　東近江市総務部まちづくり協働課
〒527-8527
滋賀県東近江市八日市緑町 10 番５号

TEL：(0748) 24-5623 FAX：(0748) 24-0855

請負者　　ＮＰＯ法人まちづくりネット東近江
〒527-0023
滋賀県東近江市八日市緑町 4-1
TEL：（0748）-56-1277　FAX：（0748）-56-1277

上記業務が完了しましたのでご報告致します。

目　次

第１章　背景・目的 5

１-１．　背景 5
１-２．　目的 5

第２章　情報収集及び提供に関する業務 6

２-１．　市内外の市民活動や地域活動等に関する情報の収集及び発信エラー! ブックマークが定義されていませ
２-２．　市民活動に関する機関誌の発行及び配布（年３回以上、配布は市が協力） 6
２-３．　活動団体のＨＰ制作等の情報公開及び発信の支援 8
２-４．東近江市パブリックアクセス推進協議会の運営支援 10

第３章　相談及びコンサルティングに関する業務 15

３-１．　窓口や電話による多様な相談への対応 15
３-２．　各種の相談要請に対するアドバイザーの派遣や専門家の仲介 16

第４章　人材育成及び研修に関する業務 17

４-１．　市民向け市民活動の普及啓発を図る研修会の開催 17
４-２．　資金獲得、団体運営（組織化、情報発信、労務管理、会計事務）等に関する講座の開催 19
４-３．　コミュニティビジネスの起業及び経営に関するセミナーの開催 21
４-４．　コミュニティビジネスの事例収集と紹介 22
４-５．　中間支援組織の人材育成及び能力開発に関する研修の受講 23

第５章　活動資金の調達支援に関する業務 23

５-１．　各種助成金や補助金の情報提供と申請事務等の指導及び支援 23
５-２．　東近江市わくわく市民活動支援補助金審査会の運営協力及び採択団体の支援 25
５-３．　事業指定寄付制度「にじまちサポーターズ」の運営及び普及 26
５-４．　「にじまちサポーターズ」の評価と持続可能な制度構築に向けた検討 29
５-５．　新たな資金調達制度の調査及び研究 30

第６章　交流促進と協働推進に関する業務 31

６-１．　多分野連携で市民活動・地域活動を活性化するための交流会の開催 31
６-２．　まちづくりに関わる多様な主体間の連携及びネットワークの構築 32
６-３．　活動団体や事業者と行政との協働の促進及びコーディネート 33
６-４．　ボランティア希望者と受け入れ団体のコーディネート 35
６-５．　市民活動を促進するフォーラムやイベントの開催に向けた調査、 35
検討、企画等 35

6-6. 東近江市協働ラウンドテーブル運営委員会の運営支援 36

第７章　その他市民活動の促進に関する自主業務エラー! ブックマークが定義されていません。

7-1.　そこら編集委員会の参加.....**エラー! ブックマークが定義されていません。**

7-2.　つれづれ日記の発行 .....**エラー! ブックマークが定義されていません。**

7-3.　広葉樹の利用と森林再生についてのワークショップと現地検討会 IN 東近江**エラー! ブックマークが定義**

7-4.　東近江市未来を育む取組体系図検討ワークショップ**エラー! ブックマークが定義されていません。**

7-5.　地域資源発掘ワークショップ業務 ....**エラー! ブックマークが定義されていません。**

第８章　評価と課題.....44

8-1.　評価と課題..... 44

参考資料編..... エラー! ブックマークが定義されていません。

第１章 背景・目的

１-１． 背景

（1） 背景

２０１１年２月に出された、東近江緑の分権改革研究会報告書によると、「日本の縮図とも言える東近江市でも、少子高齢化や地域経済の低迷など様々な課題に直面している。これらの課題に対処するためには、行政が縦割りで個々の課題に取り組むのではなく、市民生活の視点に立って組織横断的に課題に取り組み必要がある。その取り組みの１部として、東近江市においては、食・エネルギー・ケアといった市民生活の視点から見た分野が地域において自立している、持続的発展が可能な共生の仕組みづくりを目指している。そして、食・エネルギー・ケアが地域において自立する社会は、これらの分野に関わるヒト・モノ・カネが地域で循環している社会と言い換えることもできる。」となっている。

このような背景を鑑み、地域課題解決をめざす市民活動の支援を行う。

１-２． 目的

（１）目的

市民活動団体の育成と交流を促進し、地域の課題解決を図る市民公益活動を支援する等の中間支援機能の充実をはかることにより、市民と市の協働によるまちづくりを推進するとともに、活力ある地域社会の実現に寄与することを本事業の目的とする。

（２）基本方針

・ＮＰＯ、ボランティア、まちづくり協議会などが行う市民公益活動を積極的に支援するとともに、市民活動を促進する。
・東近江市のまちづくりに関わる市民活動団体・地縁団体、事業者・行政・学校などの多様な主体間の連携・ネットワーク構築のための交流の促進と協働の推進を支援する。
・人、モノ、情報など、地域の資源を活用してビジネス手法を用いて地域の課題解決を図る活動（コミュニティビジネス）を支援する。

（３）各業務内容に応じた目的・事業内容

1、情報収集・提供に関する業務
2、相談・コンサルティングに関する業務
3、人材育成・研修に関する業務
4、活動資金の調達支援に関する業務

5、交流促進と協働推進に関する業務
6、その他市民活動の促進に関する自主業務

第２章　情報収集及び提供に関する業務

本章では、市民活動・地域活動に関する様々な情報収集を行い、様々な媒体を利用して情報発信・情報提供を行うとともに、市民活動団体の情報公開に対する支援を行う。

２-１．　市内外の市民活動や地域活動等に関する情報の収集及び発信

市民活動や、地域活動に関する情報を取材し、広報誌、まちづくりネット東近江のホームページや facebook で発信した。市役所１階ロビーの壁面と事務所玄関に市民活動情報掲示板を設置し、チラシやパンフレットの掲示を行った。

また、情報発信ツールとして Twitter、Instagram、Youtube のアカウントを新規で作成し３年目となる今年度は、フォロワーも増加し発信力を増している。Youtube のチャンネル登録者数を来年度はパブリックアクセスのまちのわ投稿動画、コンテストでの有料広告などを利用してさらに伸ばしていくことを目標としている。

市役所１Ｆ掲示板

Twitter フォロワー　100　→　132

Instagram フォロワー　276　→387

Facebook フォロワー　910　→　992　　Youtube チャンネル登録者　0　→　8

２-2.市民活動に関する機関誌の発行及び配布（年３回以上、配布は市が協力）

今年度は、６月、９月、１月、３月の年４回広報誌「にじまち」を発行する。この広報誌は、以下のことを目的に発行し、冊子サイズは、A5 サイズ 16 ページ。部数は 1500 部。東近江市の「いいこと」「いいひと」「いいもの」をコンセプトに編集会議を経て作成する。

市内設置店舗：69 ヶ所（市内外の事業所及び、公共施設）

表 2-3-1　広報誌の目的

目的１	若い人が住んでいる地域に興味をもってもらう
目的２	東近江市で行われている市民活動を知ってもらう

（１）内容について

にじまちは、以下のカテゴリに分け、編集会議で取材先の検討を行う。内容が決まったあと、取材をし、記事を作成する。主に東近江市の市民活動やまちづくりを知ってもらえる内容をテーマに応じて掲載する。

表 2-3-2　カテゴリと中味について

カテゴリ	中身
特集	その月のテーマに合わせて特集の内容を考える
まちのわ	まちのわの情報
コラボ	東近江市市民協働推進委員会のニュースレター
東近江人	東近江市の魅力ある人の紹介
マチコト	コミュニティビジネスの事例紹介
彩	東近江市の団体の紹介
地域のかわら版	市民活動団体からのお知らせ
お知らせ	まちづくりネット東近江からのお知らせ

（２）各月ごとのテーマ

以下の表の通りテーマを決め、編集会議で具体的な取材先を決めていく。

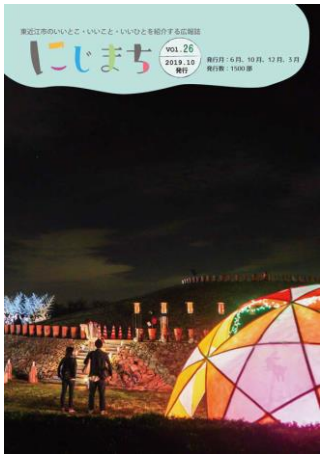
表 2-3-3　テーマの検討

発行月	テーマ
６月	ぶらっとまちあるき第２歩～能登川駅周辺～
９月	子ども食堂
12 月	東近江市合唱
３月	学生の市民活動参加

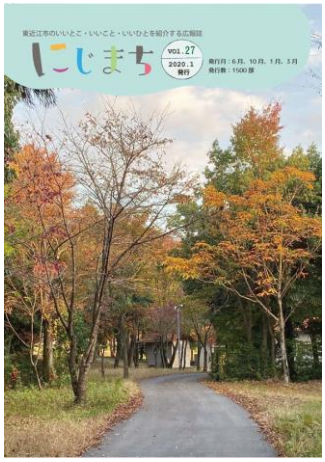
（3）各号の内容について

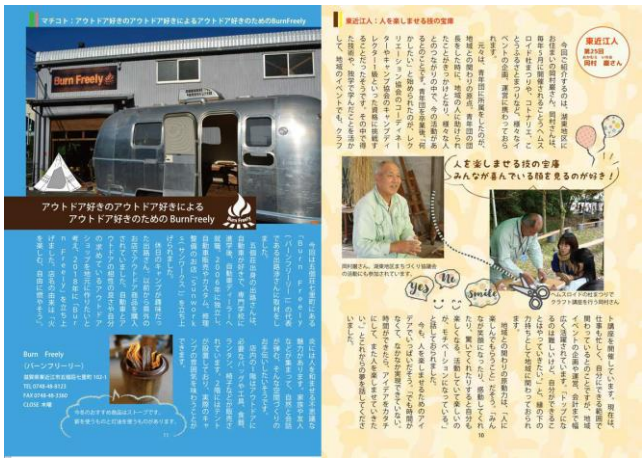
1）６月号（VO1.25）

2）10月号（VO1.26）



3）１月号（VO1.27）





4）３月号（VO1.28）

2-3．活動団体のＨＰ制作等の情報公開及び発信の支援

2019 年度も、団体から依頼のチラシ作成と活動団体の情報発信を行う。まちづくりネット東近江の公式 SNS も着実にフォロワーが増えてきている。またＳＮＳの作成やＨＰの作成支援などもおこなった。紙媒体だけでなく、ＷＥＢを使った情報発信が見直されている。

以下チラシ作成と団体の情報公開の件数である。

1．チラシ作成　51 件

　ＨＰやＳＮＳの更新や作成　５件

2．各ＨＰや facebook などで紹介した件数

掲載場所	件数
まちづくりネット東近江のＨＰ	50 件
まちづくりネット東近江の facebook	82 件
まちづくりネット東近江の Twitter	25 件
まちづくりネット東近江の Instagram	15 件
まちづくりネット東近江の Youtube	11 件
	総計　183 件

2-4．東近江市パブリックアクセス推進協議会の運営支援

（1）パブリックアクセスとは

パブリックアクセスとは、一般市民が一定のルールによって自主的に放送番組を企画・制作することを指す。

また、広くは放送に限らず「言論・表現の公共圏（パブリックフォーム)」にアクセスする行為や制度を指す。

パブリックアクセスは、政治やビジネスに専有されたメディアに多様な市民の意見を反

映させる、民主主義の基盤的なシステムであり、先進国でこうした市民放送局が活躍しているが、わが国では法整備がなされていないため先進的な団体等が情報収集し、横の連絡を密にしながら取組み始めているのが現状である。

（２）パブリックアクセスの意義

パブリックアクセスを進める意義としては、情報を市民自身が制作し発信するという「当事者視点」を持ち、議論を徹底して物事を進めることで「合意形成の過程を共有」することができる。

また、東京中心の放送から脱却し、「各地域が情報発信の源」となることができる。

その他にも、地域の記憶を共有するような「ソーシャルキャピタルの構築」や、「過度の商業主義からの脱却」、「地域の非営利活動の促進」等が可能となり、熟議型民主主義が発展していくと考えられている。

（３）東近江市でのパブリックアクセス

東近江市では、東近江緑の分権改革研究会の中で「パブリックアクセス」の部会が立ち上がり、その中で東近江市でのパブリックアクセスの実現に向けた検討会が開催され、その後 2012 年に東近江市パブリックアクセス推進協議会が設立され、東近江市でのパブリックアクセスを具現化する協議が行われている。まちづくりネット東近江は、構成団体の一つであり、事務局を担っている。

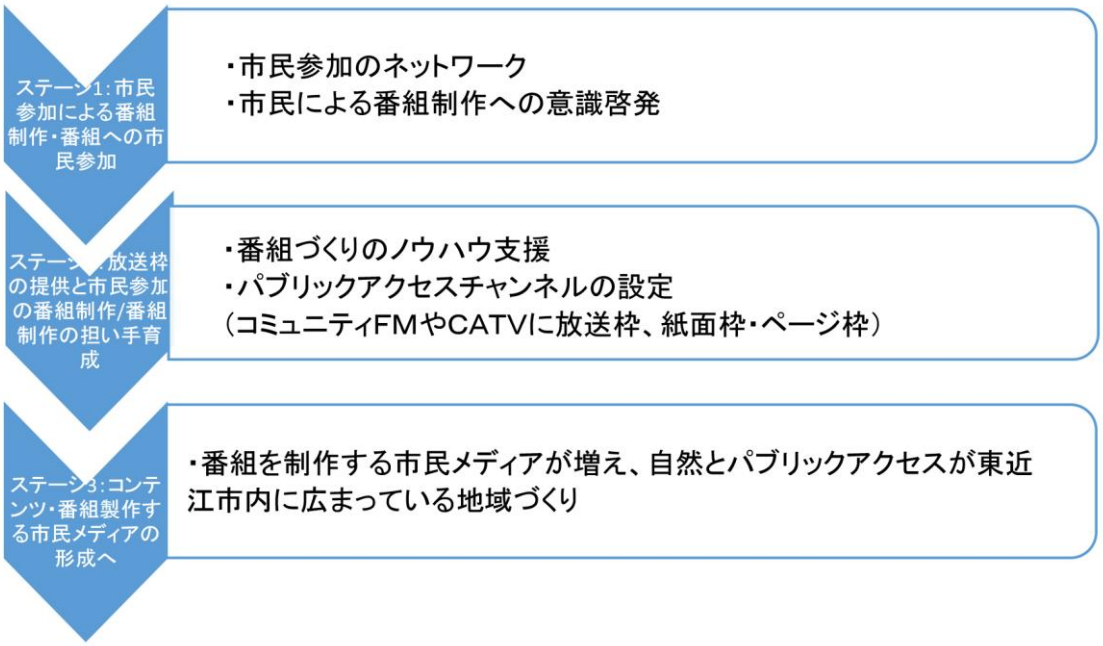


図 2-5-1　パブリックアクセス実現方策

（4）東近江ケーブルネットワーク株式会社との番組制作

東近江スマイルネットにて、毎月１回、日曜日～土曜日まで市民投稿枠の中で 15 分の番組を制作している。番組名「まちのわ」。今年度は、１３作品の投稿があった。以下、番組に投稿があった作品である。

投稿月	番組名	投稿者
３月	市辺れきし発見「虫送り」	市辺地区まちづくり協議会　歴史文化部
４月	ちいさなたびいち　みそ作り体験	NPO こもれ日小田苅家
５月	菜の花エコフェスタ 2019	ＮＰＯ法人愛のまちエコ倶楽部
６月	盲導犬ベリンダの一日	築山清美
７月	水鉄砲合戦～世は戦国！雪野山夏の陣～	平田地区まちづくり協議会
８月	でっかい太鼓で、でっかい夢を叶えたい！大勢で演奏して、地域で活躍します！	鈴鹿壱番太鼓
９月	大森村の最上の殿さま	玉緒地区まちづくり協議会（委員会）
10 月	ナツダワ！ノトガワ！タノシイワ！能登川チンドン！	玉緒地区まちづくり協議会（まちづくり委員会）
11 月	わがまち協働大賞 2019 市民投票開催！！	東近江市市民協働推進委員会
12 月	御園地区秋まつり 2019	パソコンボランティア能登川　和ねっと！
１月	玉緒地区まちづくり協議会・林田町若竹会･御園地区まちづくり協議会の活動紹介	玉緒地区まちづくり協議会（委員会）
２月	Ｂムービーより愛をこめて　天使と悪魔	小島秋彦
３月	まちのわ会議第 10 弾「私のやりたいことをみんなでカタチに～会話から見つける実現への第一歩」を開催しました！	東近江市ラウンドテーブル運営委員会

（5）　写真撮影講座の開催

目的：市民参加の情報発信の仕組み、意義を広げる。情報発信を行える市民を育成する。「まちのわ」への投稿への参加を促す。

内容：スマホでの写真撮影や加工に興味がある方、上手な撮影・編集方法を知りたい方が撮影方法、質問をする講座。

日時　　2019 年 7 月 27 日（金）19：00～19：00

参加人数　６人

場所　　エコプラザ菜の花館/あいとうマーガレットステーション

講師　　谷田寛次（株式会社 Weavestyle）

↑参加者の写真　　↑講師の写真

意見

- 撮影前にスマホのレンズを綺麗にしておくことはなかなか気づけなかった。
- 上からや、下からなど、視点を変えるだけで印象の違う写真が撮影できるのは面白かった。

所感

天気が雨だったが、撮影時は止み、雨上がりならではの撮影ができたのは良かった。また、マーガレットステーション店内の撮影も急遽、許可を頂けたので魅力的な被写体がたくさんあり良かった。撮影後の写真共有では、まちづくりネット東近江が試験的導入している公式 LINE アカウントに登録して貰い、簡単に共有することが出来た。これからの情報発信ツールの一つとして検討していく。参加者が少し少なく、若年層もいなかったので、今後の課題としたい。

（6）メディアリテラシー講演

インターネットや SNS などの普及により、様々なツールを使い、多様な人々が手軽に情報を発信できるようになっている。しかし、その一方で、フェイクニュースやデマなどの間違った情報が流れてしまうことがある。そこで情報を正しく見極める力「メディアリテラシー」を向上するための講演会を開催し、誰でもしっかりと情報を受け取り、届けることができる!現代を生きるためのヒントを学ぶ。

日時　　2019 年 5 月 25 日（土）14：00～16：30

参加人数　30 人

場所　　五個荘コミュニティセンター大会議室

講師　　下村健一（令和メディア研究所）

参加者アンケート

・メディアリテラシーのことをとえもわかりやすくお話してくださった。自分自身も含めてどのようにメディアと関わると良いかを教えて頂けて良かったです。
・順序だててわかりやすくお話いただき納得でした。情報をどう受け取るのか今の時代、大切なことなので、大勢の人達に知って欲しいと思いました。
・友人関係など身近な情報にも今日教わったことは基本であるにも関わらず忘れていました。目が覚めた思いです。とても良かったです。お話もわかりやすかったです。
・一つの物で色々な方向から見ることが大切だと気づいた。
・情報の送り手と受け手にはクセがあり誤解が生じる。思いやりがある人が状況を的確に伝えられる。今日はありがとうございました。面白かったです。
・分りやすく取り組みやすい内容でした。メディアリテラシーがテクニックでなく、人のあり方に通じることを学べました。
・何をしたらいいのか不安であったが、４つのギモンという道具をいただいてなんとかなるのではと思えた。
・先日の大津の交通事故のマスコミの思いやりのない報道問題を再考させられました。
・子ども（中１、小３）も一緒に連れてきて
聞かせて欲しい講演だと思いました。
・とても分りやすく新たな発見が多くあった。参考にさせて頂きます。
・パワーポイントを使って、説明も分りやすくとても興味深かった。

所感

想定する定員を集客できず、とても良い内容だったので非常に残念だった。原因として、チラシを市内の保育園や小中学校に広報したが、年度初めということもあり学年、クラス単位の生徒数がまだわからず、学校単位での配布となり、きちんと生徒にチラシが届いていなかった可能性がある。また、講演タイトルも少し難しかったように思う。
参加された感想はどれも満足度が高く、子どもにも聞かせたい、分りやすく参考にしていきたいという意見が多かった。講演の中で、市民が動画を作ってみることがメディアリテラシー向上に有効だと言って頂けたこと、まちのわの紹介、役割も盛り込んでもらい、今後のパブリックアクセスの事業に繋げていきたい。

第３章 相談及びコンサルティングに関する業務

本章では、市民活動・地域活動の実施・参加に関する相談、団体の組織化・運営・法人化等に関する各種の相談と支援を行う。

３-１． 窓口や電話による多様な相談への対応

（1） 窓口・電話による相談への対応について

相談者の内容、対応したこと等をデータベースのセールスフォースに入れて、スタッフ全員で共有し、次に役立つように記録を残している。さらに、記録を集計してまちづくりネット東近江が行う支援のあり方や、期待される役割等を検討するデータとして活用している。 また、県内の中間支援団体の相談件数の把握のために、相談内容と相談者の所属を統一の項目とした。

【実績】 総相談件数 １３４件（昨年１１６件）、

相談総数時間 １７１．５時間（昨年１５５.４時間）

ひよこサロンから生まれた継続相談が増えた。NPO 法人設立相談や活動開始のための助成金相談など、多彩な内容となった。その他、広報・PR など情報発信に関するものは相変わらず多い。その中からホームページ作成や、フェイスブック講座に結びついた例もある。情報発信が WEB 主体に変わりつつあり、ホームページ作成の要望は強い。市民活動相談として「事業計画」についての相談も多い。

<表 1>は項目の主な相談内容である。

相談案件

大分類	小分類	件数
１ 設立･解散相談	設立の手続きと流れなど	４件
２ 会計・財務相談	会計・財務の具体的な内容など	６件
３ 市民活動相談	組織・事業運営、「協働」に関することなど	54 件
４ 情報発信相談	広報・PR、情報発信 など	40 件
５ 助成金相談	助成金、活動支援金など	12 件

６　その他	上記分類に 当てはまらないもの	18 件
	(総計)	134 件

主な相談者

分類	件数
個人（個人事業主、企業）	28 件
NPO 法人	16 件
任意団体	59 件
社会貢献団体	１件
財団法人・社団法人	14 件
企業	２件
公的機関	８件
社会福祉法人・学校法人	５件
その他	１件
(総計)	134 件

３-２．　各種の相談要請に対するアドバイザーの派遣や専門家の仲介

（1）　各種の相談要請に対するアドバイザーの派遣、専門家の仲介

相談された案件について専門的な支援が必要となった為、専門家及び専門機関へコーディネートを行った。

①　個人の持つ技術の派遣

対象団体	蒲生コミュニティセンター
連携先	川崎　日出夫さん
内容	蒲生コミュニティセンターで新たに人材バンクという仕組みをつくるために、名簿管理のシステムの構築をしてほしい。

② 団体運営アドバイザーの派遣

対象団体	NPO 法人　里山保全活動団体　遊林会
連携先	認定 NPO 法人しが NPO センター
内容	団体運営を構築するために、専門家として派遣。事務局内の運営基盤の構築を行う。

③ ファシリテーションの基礎講座の講師派遣

対象団体	野洲市市民活動センター
連携先	東近江市ラウンドテーブル運営委員会
内容	ファシリテーションの基礎講座を開催するために専門家として、講師の派遣を行う。

第４章　人材育成及び研修に関する業務

本章では、市民活動・地域活動を担える人材の育成と団体運営や活動の活性化に資する研修や講座の運営を行う。

４-１．市民向け市民活動の普及啓発を図る研修会の開催

（1）ひよこサロン

内容：市民活動をしていきたいと思っている方や、これまでも様々な活動をしてきたが、もっと関わる人を増やしたいと思っている方などが集まり、学ぶ機会とする。その中で、普段の悩みなどを話してもらいながら、まちづくりネット東近江の相談事業へつなげていく。

ねらい：・市民活動ってどういうものかを知ってもらうきっかけとする。
・東近江市の市民活動に関わる人を増やしていく。

日時：２０１９年４月25日（木）　参加２名
２０１９年６月26日（水）（永源寺コミセン）　参加１名
２０１９年８月９日（金）（御園コミセン）　参加１名
２０１９年 10 月 24 日（木）（能登川コミセン）　参加３名

プログラム：10：00～　ＮＰＯって何　市民活動って何
　　10：30～　意見交換
　　11：30　　終了

＜所感＞

ＮＰＯミニ講座として、市民活動・ＮＰＯについて話をし、その後市内や県内の市民活動について事例を話し、質問を交えながら意見交換を行った。

参加者が複数になると、自分のしたいことがそれぞれで異なり、対応するスタッフのスキルが問われる。ボランティアにつなげる、NPO の立ち上げ、ビジネス要素の強い運営相談など対応力を、スタッフそれぞれが備えていくことが今後の課題となる。

（2）ハツカイ～あなたに伝えたい８つの物語～

地域を創る人達は、様々なジャンルで活躍をしている。その一つ一つの物語を一日を通じて知ってもらう。また、似たような活動をしているところや、掛け合わすことで何かが生まれそうなところを一緒に話をしてもらうことで、何かが生まれるきっかけになるようにする。

日時：2020 年９月１日（日）11：00-17：00

会場：タテベコーヒーロースターズ

参加費：300 円

内容：セッション１　紡ぐ～子どもを産む育てる～
　　お産と子育てを支える会
　　河辺生きものの森
　　セッション２　語る～若者が語る～
　　龍谷大学政策学部深尾ゼミ生
　　「そこら」の高校生ライター
　　セッション３　働く～この地で働く～
　　働き・暮らし応援センター“Tekito-”
　　東近江市まちづくり協働課
　　セッション４木使い～木と共にある暮らし～
　　木を使うプロジェクト
　　地球ハートヴィレッジ

４-２．　資金獲得、団体運営（組織化、情報発信、労務管理、会計事務）等に関する講座の開催

今年度は、資金獲得セミナー、パソコン相談会、イラストレーター講座、写真講座、薬膳などを開催した。それぞれの講座に関しては、以下の通りである。

（１）パソコン相談会

目的：団体活動をしていく中でパソコンを使って文書作成や表計算、グラフ作成、チラシ作成などを行う際に困っている事を相談型で解決する。

日時：2019 年７月 10 日
８月 21 日
９月 11 日
10 月９日
11 月 14 日
12 月 13 日
2020 年１月１４日
２月 12 日
３月 12 日

参加費：1,000 円
参加者：44 名（合計）
講　師：まちづくりネット東近江　事務局

写真：当日の様子

＜所感＞

「お悩み相談会」という名称からか気軽に参加してもらうことが出来た。10 月は午前、午後共に定員満員となった。スマホやパソコンの普段の仕事の中で使用しない操作の質問を受けることがあり、受講者に教えながら自分の技術向上にも繋がった。
受講後に話をしていると高い満足感を得られているようなので次年度も継続して行いたいと感じた。

（2）イラストレーター講座

＜目的＞Adobe Illustrator を知ってもらい、チラシや広報物の作成の一助になるために開催。また、イラレの使い方を増やすことで、地域の広報力やデザイン力を上げていくことにもつなげていく。

＜日時＞　2019 年 8 月 29 日（金）14：00－16：00
　　2019 年 12 月 20 日（金）14：00－16：00

＜参加者＞　９名（両日合わせて）

＜場所＞　まちづくりネット東近江事務所

＜所感＞今回、初めて開催した講座だったが、申込はすぐにいっぱいになり、需要があるのだということを感じた。しかしながら、ソフトが高額なこともあり、個人で購入するのが難しいので、その時には、貸出ができたらと感じた。

（3）薬膳茶講座

＜目的＞何か活動をしたいという相談から講座の支援を行い、今後の活動の方向性を探る為に講座を一緒に行う。

日時：2019 年 5 月 23 日（ウェルネスハ日市）
　　7 月 25 日（ウエルネスハ日市）
　　9 月 13 日（ウエルネスハ日市）
　　11 月 28 日（ウエルネスハ日市）
　　2020 年 2 月 27 日（ウェルネスハ日市）

参加費：1,000 円

参加者：104 名（合計）

講　師：込山利志栄さん（養生を学ぶ会）

写真：当日の様子

＜所感＞

ひよこサロンに参加され、自分の知識や経験を生かした講座の開催を行いたいということ、地域の人が健康で元気に暮らせる体づくりを行うことができるよう、身近な食べ物を活かして健康になれる方法を伝える講座を行う。当団体は、企画や運営、参加募集の窓口として協力を行う。

（4）東近江市総合戦略フォーラム

＜目的＞地域づくりアクションプランのお披露目を兼ねて、総合戦略フォーラムの２部で開催をした。若い人達がどのようにまちと関わりを持ってもらえるかを考える上で、若い人の意見や話を聞く場というのが大切になってくる。今回は、そのような場を持てたことがとてもよかったのではないかと思う。

日時：2020 年 2 月 22 日（土）14：30－16：00
会場：愛東コミュニティセンター2 階　和室
参加者：50 名

＜所感＞地域の活動をしている人は、高齢になっている人が多いが、今回、高校生の話を聞くことができ、改めて自分たちの活動にどのような部分が大切なのかを考えるきっかけになってくれたのではないかと思う。高校生が感じるリアルな地域像を知る機会になってよかったと思う。

4-3．　コミュニティビジネスの起業及び経営に関するセミナーの開催

（1）コミュニティビジネス相談会の概要

目的：・地域のためのビジネスを支援すること。
・地域の活動を更に発展させること。
・今後の活動について助言をもらうことで、さらに発展していく。

対象：東近江市コミュニティビジネススタートアップ支援事業の採択団体

内容：講師の方に来ていただき、それぞれが現在、困っていることや課題と感じていることに対して、アドバイスを頂く。ＳＩＢ（ソーシャルインパクトボンド）の仕組みを使った補助金なので、成果目標が達成できているかも同時に確認を行い、アドバイスを行う。

講師：鵜飼修氏（滋賀県立大学准教授）

4-3-1　コミュニティビジネス相談会の内容

回数	日程	内容
1 回目	7 月 17 日（水） 15：00～17：30	・今後の活動について ・これから始めるにあたって困っていること。
2 回目	9 月 20 日（金） 15：00～17：30	・活動進捗状況の確認及び困っていること
3 回目	12 月 17 日（火） 15：00～17：30 （subaco.は担当者体調不良のため 12 月 26 日 10：00～11：30 に延期）	・活動進捗状況の確認及び來年度に向けて ・今年度の成果について

参加団体（2 団体）

1）Laque

事業名：「ぶどうを育てワインを醸造・魅力ある地域経営に乾杯プロジェクト」

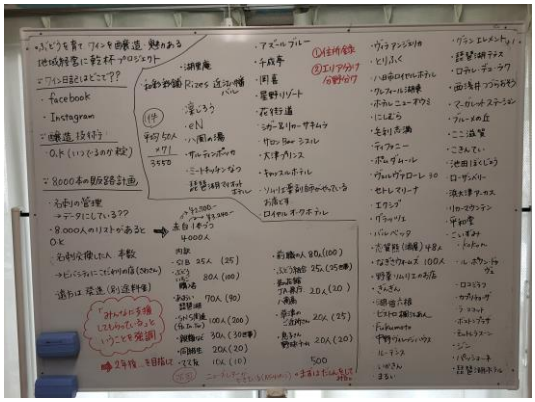
成果目標

① 8000 本のワインの販路計画。

② ワイン日記を SNS に週 1 回以上発信する。
① 醸造技術を習得し、成果報告会に実物を持参する。

2）Subaco プロジェクト
事業名：「田園にとけこむシェアオフィス subaco.を育むプロジェクト」
成果目標
① 拠点整備ができ、人が交流できるようなスペースになった。
② 地域の方に subaco.のことを知ってもらえた。
利用者を 10 人集めることができた。

（2）相談会の様子



（3）東近江市コミュニティビジネススタートアップ支援事業の成果審査会の支援
今年度、東近江市コミュニティビジネススタートアップ支援事業の成果審査会の支援を行う。審議内容を見える化できるよう板書を行う。
日時：2020 年 2 月 14 日（金）13：30～15：00
場所：東近江市役所 315 会議室

4-4． コミュニティビジネスの事例収集と紹介

（1）東近江市内で取り組まれている事業や団体立ち上げについての情報を収集した。

団体名：L’ABEILLE Atelier CHIHIRO
「ものづくり」を通じて「自分らしい生き方を」 能登川を拠点に、カフェなどのお店でよく見かける、絵や文字を黒板に描くアート作品の提供やワークショップをされている萩原千尋さんを紹介した。

団体名：BurnFreely

五個荘にアウトドアショップの店舗を構える、家族や友人などが集まって、自然と会話が弾む空間づくりのお手伝いをされいている。

4-5．　中間支援組織の人材育成及び能力開発に関する研修の受講

5月14日	Google 活用研修
5月21日、22日	休眠預金分配団体公募説明会
6月20～23日	NPO 支援センター初任者研修会
6月30日	久留米市　第１回　コンソーシアム会議
7月12日	第２回住まい活動助成事業研究交流会
7月30日、31日	地域循環共生圏づくりプラットフォーム事業情報交換会
9月14日、15日	ファンドレイジング日本
12月9日	事業を豊かにできる評価とは？地域の NPO 支援者たちと考える
1月8日、9日	日本 NPO センター主催で、民間 NPO 支援センターの将来を展望する会（CEO 会議）
2月8日	全国コミュニティ財団協会年次総会、 あいちコミュニティ財団総括シンポジウム
3月25日	SalesforceWeb 研修

第５章　活動資金の調達支援に関する業務

本章では、市民活動・地域活動の資金獲得に関する支援について報告する。

5-1．　各種助成金や補助金の情報提供と申請事務等の指導及び支援

（1）助成金講座の開催

①東近江市助成金・補助金説明会

日時：4月１８日（金）　１９：００～２１：００

会場：市役所会議室

内容：助成金の獲得や自分の活動にあった助成金を探す方法について学び、にじまちサポーターズ、高齢者活動補助金、わくわく市民活動支援補助金、コミュニティビジネススタートアップ事業について、担当者から説明

を行い、その後個別の相談会を行った。

参加者：１７名

②助成金相談会

日時：4月２６日（金）１０：００から１６：００

会場：まちづくりネット東近江事務所

内容：助成金講座に参加された方が、実際の申請に向けての個別相談を開催した。

参加者：４名

③助成金講座

日時：１２月１６日（月）　１４：00～１６：00

会場：まちづくりネット東近江事務所

参加：２名

内容：助成金についてと、どこで探せば良いかなどについて説明のあと、個別にお話しを聞きながら、相談形式で学んでもらう。

（２）各種助成金・補助金の情報提供の支援

情報提供件数１９件

掲載月	件数
4月	6件
6月	2件
8月	1件
10月	1件
11月	2件
12月	1件
1月	2件
2月	2件
3月	2件

５-２．　東近江市わくわく市民活動支援補助金審査会の運営協力及び採択団体の支援

（1）概要

東近江市わくわく市民活動支援補助金は、市民が主役のまちづくりを推進するため、市民活動団体が自ら企画して実施する活動に対して、市がその経費の一部を助成する補助金制度で、連携し支援する。

（2）採択団体

1）ちょっとわくわくコース

事業名	団体名
安心の暮らしづくり応援事業「あなたと家族のための終活講座 2019」	特定非営利活動法人　まちの相談室よりそい
能登川ちんどん地域交流事業	能登川ちんどん制作委員会
後生に伝えよう！伊庭の魅力再確認プロジェクト～想いをつなぐ～	水辺の里伊庭を考える会
東近江トレイルツアー	東近江トレイル実行委員会
中山道五個荘にぎわい事業	中山道五個荘にぎわい事業委員会

（3）当日までの協力

・広報宣伝
・申請書の書き方支援
・団体の事業内容の広報活動

（4）審査会について

①第一次募集
日時：2018 年６月 11 日（火）15：00～
場所：東近江市役所 314 会議室

②第二次募集
日時：2018 年９月 18 日（水）15：00～
場所：東近江市役所 314 会議室

（5）それぞれの団体への支援

①HP や Facebook。広報誌にじまちでの広報支援

活動している場に行き、取材をして、取材した兄用を HP や Facebook に掲載する。

・特定非営利活動法人　まちの相談室よりそい
・水辺の里伊庭を考える会
・東近江トレイル実行委員会
・おうみ東部おやこ劇場

5-3.　事業指定寄付制度「にじまちサポーターズ」の運営及び普及

（1）にじまちサポーターズの今年度のスケジュール

2019 年度のにじまちサポーターズは、以下のとおりのスケジュールで運営を行った。

日程	実施内容
2019 年４月 1～5 月 13 日	2019 年度参加団体募集期間
2019 年４月 25・26 日	2019 年度参加団体募集説明会&個別相談会
2019 年５月 22 日	にじまちサポーターズ選考委員会(ヒアリング)
2019 年６月上旬	採択団体の決定・選考結果送付
2019 年７月１日	寄付受付期間スタート（12 月 31 日まで）
2019 年６月５・７日	第１回作戦会議（各団体個別）
2020 年２月 28 日	中間成果報告会・第１回寄付制度検討委員会
2020 年３月 11 日	寄付金入金
2020 年３月下旬	2020 年度にじまちサポーターズ募集パンフレット作成

（2）にじまちサポーターズ①説明会&②個別相談会

①2019 年４月 18 日（金）19：00～21：00

場所：東近江市役所新館 313、314 会議室

参加者数　17 名

②2018 年４月 25 日・26 日（火）10：00～16：00

場所：まちづくりネット東近江事務所

参加者数　２団体

内容：にじまちサポーターズに応募をしてみたい団体に向けて、どのような寄付制度なのか説明し、団体が疑問に思っていることにもその場で対応する

（3）にじまちサポーターズ応募団体ヒアリング、選考委員会

日時：2018 年 5 月 22 日（金）17：00～
場所：まちづくりネット東近江事務所
内容：にじまちサポーターズの採択団体を決定した。決定にあたっては、選考委員会が応募団体にヒアリングを行った。ヒアリング後、選考委員の評価をもとに採択団体を決定した。
採択団体：・鈴鹿壱番太鼓「でっかい太鼓で、でっかい夢を叶えたい！大勢で演奏して、地域で活躍します！」
・お産と子育てを支える会「助産師は、ママの生き方をまるごと支えます。ママに寄り添う、助産師活動をします！」
選考委員：委員長　谷口　浩志（社会福祉法人しみんふくし滋賀）
委員　　菊井　千恵子（ファイナンシャルプランナー）
委員　　西川　実佐子（認定ＮＰＯ法人しがＮＰＯセンター）
委員　　野村　正次　（認定ＮＰＯ法人まちづくりネット東近江）
選考方法：各団体の申請書を確認し、以下の項目ごとに採点する。

・事業の目的	・事業の計画性	・地域への波及効果
・寄付制度の理解	・実現能力の有無	

（4）にじまちサポーターズ作戦会議
内容：寄付集めを進めていくにあたり、にじまちサポーターズ参加団体と事務局で意見を出し合い寄付集めの方法や今後のスケジュールなど確認を行った。
日時：2019 年月日　　第 1 回にじまちサポーターズ作戦会議（団体個別）

（5）にじまちサポーターズ普及活動
概要：にじまちサポーターズを知って頂くために、パンフレット作成やプレスリリース

を実施した。

実施内容：８月下旬　にじまちサポーターズパンフレット配布（市内コミセン、図書館県内中間支援施設など）

８月下旬　ドネーションパーティーＰＲ

10 月 22 日　まちづくりネット東近江会員交流会でＰＲ活動

図：パンフレット

（6）イベント参加や寄付商品販売協力での寄付集め

市内の事業所に募金箱を設置し、市民に募金型の寄付を募った。

募金箱設置協力事業所　（順不同・敬称略）

中野ヴィレッジハウス	八百亀	肉の大助
セブンイレブン東近江永源寺店	しろき庵	大桝屋
川口屋老舗	ヒトミワイナリー	ふる里まなびや
永源寺温泉八風の湯	加楽	重森スポーツ
ルトンセラン	マエダクリーニング金屋本店	くつろぎ茶　幸
パピエ	ますきちアピア店	ミナミイ
Kokon	スマイルキッチン	こがもカフェ
野菜花	タテベコーヒーロースターズ	ごはんや月陰
マルハチ醤油	外川良種苗店	フォト＆キッチンみみみ

事業所 Mittte は、年間通じてコーヒーチケットの売り上げの一部を寄付として協力いただいた。また、東近江市内で行われたイベントに参加し、にじまちサポーターズの寄付集めを行った。

内容：９月 21 日　蒲生お月見コンサートにて、寄付付き商品（焼きそば）の販売

11 月３日　二五八祭りにて、寄付付商品（バザー品）の販売

写真：お月見コンサート、焼きそば販売ブースの様子　　写真：二五八祭の様子

（7）寄付金額

2019 年度集まった寄付金額の合計と各参加団体の寄付金額については以下のとおりである。

寄付金総額：951,093 円

各団体寄付金額明細

団体名	目標金額	寄付金額	まちづくりネット繰り入れ分）	振込額（手数料差し引き後）
鈴鹿壱番太鼓	500,000 円	114,245 円	63,479 円	159,952 円
お産と子育てを支える会	500,000 円	772,134 円	106,991 円	791,141 円
寄付金総額		886,379 円	170,470 円	951,093 円

5-4.　「にじまちサポーターズ」の評価と持続可能な制度構築に向けた検討

（1）にじまちサポーターズ検討委員会

2019 年度の事業の反省、2020 年度の計画や募集要項などの検討は以下の日程。

日程	検討内容
2020 年 2 月 28 日（金）	2019 年度にじまちサポーターズ採択団体中間発表 2019 年度採択団体活動評価と寄付配分決定 2020 年度事業指定寄付制度にじまちサポーターズ実施計画書・募集要項の検討

（2）2020 年度スケジュール

2020 年度にじまちサポーターズのスケジュール予定は以下の通りとなった。

日程	実施内容
2020 年４月 1～5 月 13 日	2020 年度参加団体募集期間
2020 年４月 21 日	2020 年度参加団体募集説明会
2020 年５月中旬	にじまちサポーターズ選考委員会(ヒアリング)
2020 年６月上旬	採択団体の決定・選考結果送付
2020 年６月下旬	第１回作戦会議
2020 年７月１日	寄付受付期間スタート（12 月 31 日まで）
2020 年９月	第２回作戦会議
2020 年 11 月	第３回作戦会議
2021 年１月	中間成果報告会・第１回寄付制度検討委員会
2021 年２月	第２回寄付制度検討委員会・寄付金入金
2020 年２月	2021 年度にじまちサポーターズ募集パンフレット作成

５-５．　新たな資金調達制度の調査及び研究

（1）制度融資の検討

社会情勢が大きく変化する中、地域課題は多様化しこれまで以上に行政と市民、市民と市民が協働して課題を解決することが必要となっている。そこで「志のあるお金」を「地域資源を活かしつつ」解決をめざす多様な主体やその取り組みに対し、社会的に意義のある活動に生かすために「東近江三方よし基金」が設立された。

2018年度に公益財団法人となり、新たな助成や寄付、SIB 事業など大きく広がっている。今年度は、湖東信用金庫と連携し、地域の融資制度設計に携わった。地域の活動団体が融資を受けやすくなり、融資の審査がより公共的なものとなるような形をワーキンググループをつくり検討を重ねた。

制度融資検討ワーキング

１回目　2019 年 10 月 11 日（金）

２回目　2019 年 11 月 25 日（月）

３回目　2019 年 12 月 24 日（火）

４回目　2020 年　２月 13 日（木）

５-６．　公益財団法人三方よし基金との連携

４回の理事会に出席

東近江の森と人をつなぐあかね基金の検討に参加

近江商人応援事業審査会に参加

新型コロナウィルス対策のための子ども・若者への緊急サポート審査会に参加

第６章 交流促進と協働推進に関する業務

本章では、市民活動・地域活動を促進するため、分野を超えた連携と協働推進を支援する。

６-１． 多分野連携で市民活動・地域活動を活性化するための交流会の開催

（１）ええよりの開催

今年度は、テーマ型での交流会として「ええより」を２回開催した。

① 「女性と社会との関わり」

日時：2019 年９月 30 日（月）10：00～13：45

場所：中野ヴィレッジハウス

参加者：８名

（所感）

参加は少なかったが、「女性と社会との関わり」という抽象的なテーマにも関わらず参加された方が多く驚きだった。それぞれの思いを話す場としてお互いあまり知り合いでもないことが良かったと思う。いろいろな不満や不安を吐き出せる場として有効だったと考える。

② 「ソーシャルセクターに関わるスタッフと滋賀県立大学生の交流会」

日時：2020 年１月 17 日（金）14：00～16：00

場所：中野ヴィレッジハウス

参加者：16 名

（所感）

団体には、“学生から若い人材・担い手の活動への参加のヒント”を、学生には、“NPO・ソーシャルビジネスなどの現場の声”や、“これから社会へと進出するための新しい視点”を持つきっかけになる良い機会となった。

（2）ワイン交流会

今年度 SIB 事業の採択事業者との協働で、東近江市で唯一の醸造所「ヒトミワイナリー」の事業の話や、これから東近江市産のぶどうでワインを作る思いなどを話しながら交流をするワイン会を開催した。

日時：2020 年１月 31 日（金）19：00～21：00

場所：地域型密着特別養護老人ホームきいと

参加者：30 名

（所感）

参加者には、事業者の友人だけでなく、投資した応援者や、ワインが好きな人、ワインに興味がありこれから知っていこうという人がたくさん参加された。SIB 事業者にとって良い PR の場となった。

６-２．　まちづくりに関わる多様な主体間の連携及びネットワークの構築

（１）市民活動支援センター意見交換会

滋賀県内の中間支援センターで働くスタッフ間の研修や情報交換の場として開催されている。今年度は順番により当団体が世話人となり、会議の企画を考え東近江で開催した。テーマは、県内の相談事業の内容と相談者の所属を統一してはどうかの意見があったので、そのことについて意見交換を行い、一定の方向を出した。

①第１回市民活動支援センター意見交換会

日時：2019 年８月９日（金）13：30～16：30

会場：ピアザ淡海　滋賀県立県民交流センター　206 会議室

内容：●意見交換会の位置づけについて

●本年度の事業について

●相談内容の統一について

②第２回市民活動支援センター意見交換会

日時：2019 年 11 月 24 日（日）10：00～15：30

会場：守山市民交流センター

内容：第 15 回もりやま市民活動屋台村に参加しての意見交換

③第３回市民活動支援センター意見交換会

日時：2020 年３月 10 日（火）

新型コロナウィルス感染予防の為中止

（2）災害支援市民ネットワークしが

①災害支援市民ネットワークしが 2019 年度第 1 回研究会

日時：2019 年４月 24 日（水）15：00～17：00

会場：コラボしが 21　６階

内容：2018 年度事業報告と 2019 年度事業計画案について、それぞれの活動報告

②災害支援市民ネットワークしが 2019 年度第３回研究会

日時：2019 年 12 月 11 日（水）13：30～16：00

会場：ハッシュタグ大津京　まちづくりスポット

内容：　県内の防災ラジオ協議会の動きなど

（3）ボランティア推進を考える会（社会福祉協議会）

①ボランティア推進を考える会 2019 年度第１回

日時：2019 年８月 28 日（）13：30～15：30

場所：ハートピア

内容：2018 年度のふりかえりと 2019 年度の計画

②　ボランティア推進を考える会 2019 年度第２回

日時：2019 年 10 月７日（）10：00～12：00

場所：ハートピア

内容：ボランティア川柳とボラなび！の活用

③ ボランティア推進を考える会 2019 年度第３回
日時：2019 年 11 月 11 日（）13：30～15：30
場所：ハートピア
内容：ボランティアセンター勉強会について
④ 地区ボランティアセンター勉強会
日時：2020 年２月４日（火）13：30～16：00
場所：蒲生コミュニティセンター
内容：先進地区活動事例紹介・
⑤ ボランティア推進を考える会 2019 年度第４回
日時：2020 年２月 13 日（）13：30～15：30
場所：ハートピア
内容：地区ボランティアセンター勉強会の振り返り
⑥ ボランティア推進を考える会 2019 年度第５回
新型コロナウィルス感染予防の為中止

（4）そこら編集委員会

地域の情報冊子「そこら」を作成するための編集委員会。冊子の内容や編集方法まで委員会の中で検討する。今回のテーマは、人材育成。
日時：2019 年７月 10 日（水）18：30-21：00
会場：八日市図書館

（5）東近江市市民協働推進委員会

少子高齢化・財政悪化など社会経済情勢の大きな変化や市民ニーズが多様化・複雑化する中、公共的な課題を解決するにはこれまでのような行政サービスだけでは対応が困難である。公共分野に市民が積極的に参加すると共に、市民と行政がそれぞれの特性を生かして相互の理解と信頼の下に、連携・協力して地域課題の解決に取り組む「市民と行政の協働によるまちづくり」が求められている。

日時：2019 年７月４日（木）19：00-21：00
2019 年９月４日（水）19：00-21：00
2019 年 11 月 11 日（月）19：00-21：00
2020 年３月 19 日（木）19：00-21：00
会場：東近江市役所

６-３． 活動団体や事業者と行政との協働の促進及びコーディネート

（1）わくわくこらぼ村実行委員会の検討内容

実行委員会の検討内容

・わくわくこらぼ村の目的に応じた企画・運営
・わくわくこらぼ村の参加団体に対する募集要項の内容検討

（2）実行委員会の委員

東近江市市民活動推進交流会実行委員会の委員は下表のとおりである。

表　6-3-1　実行委員会委員名簿

役職	所属	氏名
委員長	あいのみ企画室	奥村　清和
副委員長	地域おこし協力隊	三崎 尚子
委員	NPO 法人エトコロ	中島 みちる
〃	地球ハートヴィレッジ	モリコーニ直美
〃	東近江市社会福祉協議会	福永　剛士
〃	東近江市健康福祉部福祉総合支援課	岸本　香歩
〃	東近江市立図書館	平賀　美穂
〃	西堀栄三郎記念探検の殿堂	小林　亜美
〃	湖東地区まちづくり協議会	福田　純子
〃	ＮＰＯ法人　里山保全活動団体　遊林会	望月　光貴
事務局	東近江市まちづくり協働課	西川　誠
事務局	〃	溝江　麻衣子
事務局	ＮＰＯ法人まちづくりネット東近江	遠藤　恵子
事務局	〃	森下　瑠美
事務局	〃	岩瀬　拓也
事務局	〃	藤　一道

（2）実行委員会の開催状況

東近江市市民活動推進委員会の開催状況は、下表のとおりである。

表 6-3-2　委員会開催内容

回	開催日	検討内容
1	９月 12 日	・東近江市市民活動推進交流会実行委員会について ・昨年度の報告・企画案 ・グループ分け・してみたいこと共有
2	９月 25 日	・テーマ決め ・各グループの話し合い ・団体説明会・交流会について ・委員長、副委員長の選出
3	10 月 10 日	・参加団体の説明会&交流会
4	10 月 18 日	・各グループでの話し合い
5	11 月 27 日	・各グループでの話し合い
6	12 月 6 日～	・前日準備・最終打合せ

	12月７日	・当日
７	１月８日	・当日の反省・次年度提案

６-４． ボランティア希望者と受け入れ団体のコーディネート

ひよこサロン等で何かしたいと考えている方々の支援としてコーディネートを行なう。ひよこサロンは何かしたい人と呼びかけているので、そのしたいことを結びつけるのに、

・御園のひよこサロンで相談のあった能登川の方が、コンポストを使った活動をしたいとのことで、市辺の活動や、あいとう福祉モールの活動を紹介し、視察に同行した。
・何かしたい。でも何からしたらいいのかという相談で、まずボランティアをしたらどうかということで、サマーの会を紹介した。
・能登川のひよこサロンで障がい者向けのサロンをしたいという方があり、社協さんへ紹介した。その方の思いと社協さんの受け止めの差が大きく、しばらく様子を見ることとなった。
・永源寺で０歳から１００歳が集える楽しいひろばを開催したいと言う相談があり、社協の助成金を紹介し、開催場所として永源寺図書館への要望があったので紹介して、楽々ひろばの開催につながった。
・愛東コミュニティセンターより、薬膳の講師を紹介して欲しいと相談があり、講師と同行して話を進め、来年度早々に講座をされることになった。

６-５． 市民活動を促進するフォーラムやイベントの開催に向けた調査、検討、企画等

（１）市民活動促進のためのイベントやフォーラムに参加し、今後の企画などの検討のための調査を行った。参加イベントは以下の通りである。

参加件数 20 件

	日時	イベント・フォーラム名
1	2019 年４月 21 日	菜の花エコフェスタ 2019
2	2019 年４月 28 日	JAZZ フェス　STS 広報
3	2019 年５月 18 日	未来ファンドおうみ 2018 成果発表会
4	2019 年６月 2/3 日	日本 NPO 学会 21 次大会
5	2019 年６月８日	世界はどう動いているか～混迷から光明の道～
6	2019 年７月６日	社会的インパクト評価入門セミナー
7	2019 年７月 27 日	夏原グラント環境交流会
8	2019 年７月 28 日	蒲生あかね夏祭り

9	2019年８月６日	京都流議定書
10	2019年９月29日	（公財）京都地域創造基金設立10周年シンポジウム
11	2019年10月13日	東近江ちいさなたびいちラグビーパブリックビューイング
12	2019年10月28日	課題解決型協働推進セミナー
13	2019年10月30日	課題解決型セミナー
14	2019年11月10日	東近江ちいさなたびいち味噌作り体験
15	2019年11月14日	NPOは社会とつながっていますか？
16	2019年12月１日	お産と子育てを支える会「子育てフェスタ」
17	2019年12月22日	おうみ未来塾15期生成果発表会
18	2020年１月５日	蒲生地区新年互礼会
19	2020年１月18日	NPO法人人育ちプロジェクト成果発表会
20	2020年２月15日	ジチラボPlus地域自治へのアプローチ

6-6. 東近江市協働ラウンドテーブル運営委員会の運営支援

（1）協働ラウンドテーブルの運営委員会

（1）協働ラウンドテーブルの運営委員会の開催

協働推進委員会より派生し、ラウンドテーブルの仕組み及び、実践・試行を行う委員会である。毎月第４火曜日の19：15～21：15に定例の会議を以下の通り行う。

表：協働ラウンドテーブル運営委員会の会議報告

月日（時間）	場所	内容
４月23日（火）	まちづくりネット東近江事務所	まちのわ会議「移動」について
５月28日（火）	まちづくりネット東近江事務所	まちのわ会議「移動」の最終確認
６月25日（火）	まちづくりネット東近江の事務所	まちのわ会議のふりかえり
７月23日（火）	まちづくりネット東近江事務所	まちのわ会議について 板書講座について
８月27日（火）	まちづくりネット東近江事務所	まちのわ会議について 板書講座について
９月24日（火）	まちづくりネット東近	板書講座のふりかえり

	江事務所	まちのわ会議について
10月29日（火）	まちづくりネット東近江事務所	まちのわ会議「担い手」について 9/30日のええよりの報告
11月26日（火）	まちづくりネット東近江事務所	まちのわ会議「担い手」について
1月22日（火）	まちづくりネット東近江事務所	まちのわ会議「担い手」の最終確認
2月25日（火）	まちづくりネット東近江事務所	まちのわ会議の反省会 スキルアップ研修について

（2）まちのわ会議の開催

地域課題を解決へ導くために、課題を共有化する仕組みとして円卓会議がある。ラウンドテーブル運営委員会では、この円卓会議を「まちのわ会議」として以下の通り開催した。

①テーマ：「高齢者の生活を豊かにするための移動支援を考える」

日時：2019年6月19日（水）13：30-15：30

場所：愛東支所　会議室1

着席者

≪論点提供者≫　小梶　猛さん（街かどケア滋賀ネット）

≪着席者≫　谷　仙一郎さん（たすけあい高島）

≪着席者≫　小嶋　栄一さん（たすけあい中野）

≪着席者≫　太田　清藏さん（ほんんら堂）

≪着席者≫　野沢　郁子さん（サポートセンター加楽）

≪着席者≫　山本　亨志さん（東近江市都市基盤整備課）

ファシリテーター

〇藤　一道　　楠神　渉

司会

〇太田　裕子

記録

〇森下　瑠美　岩瀬　拓也

総括

〇福田　純子

②私のやりたいことをみんなでカタチに

会話から見つける実現への第一歩 in 湖東

日時：2020 年 1 月 28 日（火）19：30-21：30

場所：湖東コミュニティセンター多目的ホール

内容：話題提供者を現地で募り、それぞれのテーブルごとにミニまちのわ会議を開催する。

今回のテーマは、以下の８つとなった。

- コインリングをひろめたい
- 手話は言語
- 若衆会として町を盛り上げたい
- 地域の学生
- 湖東で新しく始めたい
- 農業女子
- 健康な地域
- 鉄道をはしらせたい

（3）スキルアップ講座の開催

ラウンドテーブル運営委員会では、各自のスキルアップを目指し研修を行っている。今回はメンバーのファシリテーションスキルの向上を学ぶために、公開で行う。

「会議力 UP 講座　効果的な会議の進め方～意見がでやすい会議と板書の活用法～」

日時：2019 年 9 月 19 日（木）14：00～16：30

場所：能登川コミュニティセンター学習室１
参加者：15 名
参加費：￥1000
主催：東近江市協働ラウンドテーブル運営委員会
講師：竹内清臣氏（東近江市協働ラウンドテーブル運営委員会）
＜所感＞
話しやすい空気の作り方や会議を円滑に進める方法の他にも、話し合う内容によって座席作りを変え、板書の際の見やすい字の書き方を学んだ。実際に会議を行うワークショップの際には、参加者が進んで発言をしていた。最後は、それぞれのこれからの目標を発表して、とても充実した講座となった。

第７章 その他市民活動の促進に関する自主業務

市民活動・地域活動の促進し、市民と行政の協働の推進を図るため、受託者が必要かつ有効と考える事業を自主的に企画、実施する。

７-１． 講演・講座依頼

①情報発信講座：チラシ作成や SNS のそれぞれの使い方について
日時：2019 年６月５日（水）13：00-16：30
会場：能登川コミュニティセンター

②滋賀県立大学　環境科学部
滋賀県立大学で、2019 年後期に開口する「市民参加論」の公判部分（全７回）を事例研究編として、東近江市での地域づくり・コミュニティビジネス・市民参加等について学ぶことに特化したプログラムを実施する。
※市民参加論の概要：自治体の政策過程や NPO 等による地域づくり活動、コミュニティビジネス等への市民参加の推進方策について学ぶ
日時：2019 年 11 月 29 日（金）13：30-15：00

会場：滋賀県立大学
依頼：滋賀県立大学

③第５回かがわ環境活動団体交流会

教育や環境保全活動の取り組みを促進するため、民間団体、企業、学校、行政、個人など環境に関わる様々な立場の方が参加した交流会を開催し、各主体が連携した活動が行えるよう意見交換の場を設ける。

日時：2020 年 1 月 20 日（月）13：00-16：30
会場：サンポートホール高松
依頼：香川県庁

④ジチラボ＋

このイベントは、一般財団法人 明石コミュニティ創造協会が 2018 年７月からはじめた地域自治に関する研究会「ジチラボ」の議論を踏まえて、どのように地域自治を実行、支援していくか、いくつかのテーマをもとに分科会形式でさらに深めるものである。

今回の大きなテーマは「自分ごと」。全国的に「地域運営組織」や「小さな拠点事業」「小規模多機能自治」「まちづくり協議会」などたくさんの主体、政策が進む中、本来の「自治」を目指すためには、住民の当事者意識の育成、つまり「自分ごと」にしていくプロセスが重要であると考える。分科会では、生涯学習、福祉、中間支援などのテーマに分かれて、さまざまなセクターの実践者からの話題提供をもとに改めて自治について検討する。このイベントを通じて、「地域自治」に関わる「支援」の機運が高まることを期待している。

日時：2020 年２月 15 日（土）13：30-17：30
会場：ウィズあかしフリースペース
依頼：一般財団法人 明石コミュニティ創造協会

⑤共創塾

まちづくり協議会や地域担当職員を対象に、広報誌の作成についての講座をまちづくり協働課と一緒に開催する。

日時：2020 年１月 14 日（火）18：30―21：00
会場：東近江市役所 314.313 会議室
依頼：東近江市まちづくり協働課

⑥東近江市生涯学習課

コミセン職員を対象に、まちづくりネット東近江の活動を紹介する。活動紹介だけでなく、質疑応答しながら、コミセン職員との交流を図る。

日時：2020 年３月９日（月）13：30-15：00
会場：東近江市役所　東庁舎
依頼：東近江市生涯学習課

7-2. まちづくり協議会への支援

まちづくり協議会へのヒアリング後、各地区から様々な支援依頼が増えてきた。情報発信の支援を中心に行った。

（1）御園地区まちづくり協議会

①Facebook ページと公式 LINE アカウントの創設と管理運営支援

②SNS の活用講座の開催

日時：2020 年２月 25 日（火）19：30～22：00

場所：御園コミュニティセンター

③初めての LINE 講座（新型コロナウィルス感染予防の為延期）

日時：2020 年３月 25 日（水）10：00～12：00

場所：御園コミュニティセンター

（2）市辺地区まちづくり協議会

①市辺の幼稚園後地活用について、地域住民の知恵を出し合って、まとめたいという要望があり、ファシリテーターとして関わることになった。３回のワークショップを行う。

第１回ワークショップ　６月１４日（金）　　参加約４５名

参加者の自由な意見交換によって方向性を見出すため、アイスブレーク後、市辺の自慢できるところ、気になるところ、こんな地域になったらいいなを、各グループごとに話す。最後に共有する。

第２回ワークショップ　７月１２日（金）　　参加約３５名

前回のまとめより、６分野毎に分けてグループで意見交換を行う。

第３回ワークショップ　８月　９日（金）　　参加約３３名

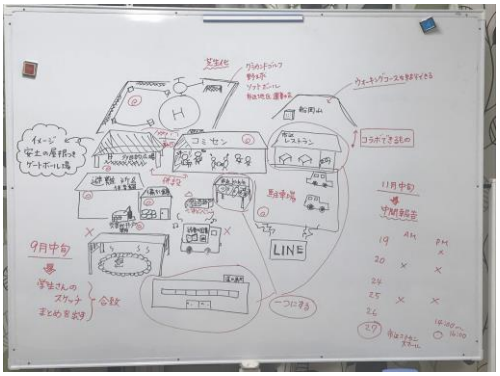
前回、エリアゾーニング計画案が４案出てきたので、その案に基いて、機能（情報発信機能・防災機能・人と人との交流機能）ごとに分かれて意見交換を行う。

ワークショップ参加者への中間報告会　１１月１３日（水）

この日までに、これまで話し合われた内容を元にイラスト図を作成する。

＜所感＞

初めて「まちづくり協議会へ入る」事業となった。地域の方々の地域への思いの強さに驚くと共に、まちづくりへの参加のカタチがさまざまあることが実感できた。昨年、まち協ヒアリングを行い、今年度このようなファシリテーションで関わるなど、少しずつ広がっている。まち協とは情報発信のかかわりも増えているので、今後はもっと深めたい。



②Facebook 講座

日時：2019 年９月 10 日（火）、９月 12 日（木）15：00～17：00

場所：市辺コミュニティセンター

③市辺まち協広報部会参加

日時：2019 年７月 29 日（月）、８月 20 日（火）13：30～15：00

場所：市辺コミュニティセンター

④Facebook ページの導入支援

日時：2019 年 11 月 29 日（金）13：30～15：00

場所：市辺コミュニティセンター

（3）八日市地区まちづくり協議会

①はちのひカフェスマホ相談会コラボ開催

日時：2020 年２月８日（土）

場所：八日市コミュニティセンター

（4）五個荘地区まちづくり協議会

①公式 LINE アカウント導入支援

日時：2020 年２月 13 日（木）13：30～17：00

場所：五個荘コミュニティセンター

7-3.　視察受入れ

まちづくりネット東近江の活動や、市内の活動を紹介し案内をした。

８月 31 日（土）　　久留米市視察
９月 ５日（水）　　合同会社 visionAreal
９月 ６日（金）　　一般社団法人　明石コミュニティ創造協会
９月 ９日（月）　　関西大学大門ゼミ生
９月 24 日（火）　　厚労省地域共生事業
10 月 ８日（火）　　守山市視察
12 月 21 日（土）　　雲南市視察
２月 12 日（水）　　久留米市視察
２月 15 日（金）　　株式会社 Draworth

計　９件

7-4.　東近江たびいち事業

（一社）東近江市観光協会と東近江市観光物産課と協働で行う事業。東近江市での体験型のコンテンツを募集し、観光客に提供する仕組み。まちづくりネット東近江では、コンテンツの造成を担当する。２回のワークショップを行い、個別での相談も行う中で、それぞれのコンテンツを深めていく。また、開催後の反省会を行う。

（1）　ワークショップの開催

日時：2019 年５月 15 日（水）18：30-20：30
　　2019 年６月 ６日（木）14：00-16：30

会場：東近江市役所　東庁舎 A 会議室

（2）　個別相談会の開催

日時：2019 年６月 17 日（月）　３件
　　2019 年６月 20 日（木）　２件

2019年６月21日（金）　２件　　計　７件
会場：まちづくりネット東近江　事務所
（3）　反省会の開催
日時：2020年 １月27日（月）19：00-21：00
会場：東近江市プラザ三方よし

第８章 評価と課題

８-１． 評価と課題

評価と課題

今年度の大きな特徴として、まちづくり協議会との連携が生まれたことが大きい。昨年度、各まちづくり協議会へのお話を聞いたことでつながりが少しずつできた。また、まちづくりネット東近江の活動を知っていただき、市外からの講師依頼もあった。今年度も新たな事業の受託や、ホームページの改修による視察の申し込みがあり、いろいろな意味で事業が広がる可能性が見えた。

・市辺まちづくり協議会から、住民を対象にした　　を考える会のファシリテーターの要請をうけ、３回ワークショップを行った。地区まちづくり協議会の住民を対象に行ったが、中間報告として方向性を示すお手伝いができた。今後の地縁組織の支援を考えるときの参考として貴重な体験となった。昨年のヒアリングで会議の運営をファシリテーターとして支援してほしいという要望があったことが実を結んだ。
・会員交流会として、SDGs カードゲームを行った。にじまちサポーターズの団体に参加いただき、活動を発表してもらい、会員とゲームをしながら交流を深めた。SDGs という言葉は知っていても意味までは理解がなかったので、良い機会になったと好評だった。
・相談は大きく増えて１３４件（昨年１１６件）となった。情報発信の相談は相変わらず多い。地区まちづくり協議会でも情報発信は何とかしたいという声があり、まち協でのフェイスブック講座などにつながった。
・今年初めて、ひよこサロンを各まち協の共催事業でお願いし、PR を含めて協力いただいた。まちづくりネットの事務所に待っているだけでなく、外へ出かけたことで、参加者が増えた。また、こういう事業を待っておられた方々につながり、その後も引き続き、助成金のお世話や組織のありようについて相談を受けるなど、関係性が強まった。
・今年度もにじまちサポーターズの応募を広げるため、市役所の補助金等の説明会を共催で行った。助成金講座を行い、その後それぞれの募集要項について説明し、その後個別の相談会とした。参加者は少なかったガ、各事業への応募にはつながった。
・にじまちサポーターズの採択された団体のひとつは、目標額以上に達した。会員全員で取り組まれ、これまでの組織運営を見直す機会となったと思われる。当法人も、蒲生で

の模擬店や、二五八祭りでのフリーマーケットや募金箱の設置など、例年通り寄付集めを行った。個別の寄付集めには認定 NPO 法人の特典を伝えながら進める事が大切だが、ファンドレイジングの組み立てが出来なかった。

・コミュニティビジネススタートアップ事業は、東近江版 SIB の手法を取り入れて、４年目を迎え、着実に浸透した。相談事業を行う中で事業支援に結びつけ、さまざまなカタチの事業となった。

・東近江市観光協会との協働事業である東近江の体験型観光「たびいち」は、委託２年目となり、声をかけたところも参加されプログラム参加事業所も倍近くに増えた。
東近江まち歩きのガイド作りの伴走支援を行い、サイトの運営とかを共に考えたが、実際のまち歩きはコロナウィルスの影響でほとんど中止となり、残念だった。

・ホームページのリニューアルにより、視察の問合せが何件かあった。自主事業収入の一環で視察コーディネート事業を検討していることもあり、マニュアルどおりに運営できるのかを今後検証したい。

・わくわくこらぼ村は昨年の検討から、今年度９つの中学校区にわかれて、その地にある団体とコラボして展示やステージ企画を行なった。参加者も多く地域の行事になったと考える。今回早くに説明会を行い、地区内の団体同士のコラボを目指したが、上手くいったところと、なかなか協力体制が組めなかったところなどさまざまになった。しかし、それぞれ工夫した多様な取り組みとなり、当日は交流の場となっていた。

・この施設への訪問者は１３７８名(昨年１２６４名）となり昨年より増えた。
この場が市民に認知され、気軽に行ける場となっていることは喜ばしい。来年度旧保健センターへ引っ越すことになり、これまでとは雰囲気が変わることになるが、新たな場として多様な活用ができるようにしたい。

・協働大賞の事業は５年目となり、事例集を作成した。これまで賞を受けられた方々の座談会を開催したが、地域での協働が身近な事例として広がっていることを感じた。またこの賞のおかげで、自分たちの活動を認めてもらえたと思えたという声が聞けたことは、５年間という積み重ねが生んだ結果だと考える。